

環境経営レポート



活動期間: 2024年4月1日～2025年3月31日

2024年度
〔作成日: 2025年6月16日〕
〔発行日: 2025年6月23日〕
株式会社 シントー

作成者 木村正彦

目 次

1. 環境経営方針 3ページ
2. 対象範囲／
3. 組織の概要 4ページ
4. 実施体制／役割・責任・権限 5ページ
5. 環境関連法規制への違反・訴訟等の有無／
6. その他の活動／
7. 環境経営目標 6ページ
8. 環境経営目標の実績・取組内容・次年度の目標 7ページ
9. 環境経営計画に基づき実施した取組結果評価
及び次年度への取組課題／
10. 代表者による全体の評価と見直しの結果 8ページ
11. 2025年度環境目標及び環境経営計画 9ページ

1. 環境経営方針

[基本理念]

株式会社シントーは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つである事を認識し、企業のあらゆる面で地球環境の保全に配慮して行動し、それと共に住みよい地域の発展に貢献することとして、基本方針を定める。

〈社是〉 良い品を安く造る

〈社訓〉 一、互に敬愛し信頼と善意とを以て社内生活を明朗にする

一、強い責任感を以て職分を遂行する

一、技術の向上習熟と創意工夫とを重んずる

一、質素を旨とし節度と礼儀とを重んじ心身を健全にする

[基本方針]

プラスチック製品の製造に関わる全ての生産又は消費活動とこれらの製品及びサービスの環境影響を低減するために、環境関連法令並びに、同意したその他の要求事項を遵守し、環境経営システムにより下記の項目について継続的な改善を進めます。また、SDGsの取り組みにもチャレンジしていきます。

イ) 地球温暖化抑制運動の推進に努めます。



ロ) 事業設備からの機械作動油及び、プラスチック原材料の漏洩防止に努めます。



ハ) 廃棄物の分別適正処理を行うと共に、廃棄物処理の削減に努めます。

二) 事業設備及び、事務所に係わる天然資源（電気エネルギー・自動車燃料・上下水道・ガス）等の使用量削減に努めます。



ホ) グリーン購入を積極的に推進します。



3.全従業員に環境方針並びに地球環境の大切さを教育し、意識の高揚及び保全活動を推進するため全ての組織、従業員が活動できる環境管理組織を整備します。

4.社内の連携を密に、海外メーカーに負けない効率的で高品質な「ものづくり」を心がけ、生産工程から発生する環境負荷の低減に取り組むと共に恒久的な環境に配慮した経営を推進します。

5.環境経営方針及び環境経営活動レポートは社外の求めに応じて開示します。

制定日：2023年06月21日

株式会社 シントー

代表取締役

横 龍 玲 子 

2. 対象範囲

認証登録範囲は本社／山形工場、宮城営業所の全ての活動
(活動期間 2024年4月1日～2025年3月31日)

3. 組織の概要

■事業者名及び代表者名

株式会社シントー 代表取締役社長 横瀧 玲子

■所在地

本社／山形工場 山形県新庄市福田字福田山711-54 宮城営業所 宮城県亶理郡亶理町字新町59-6
TEL : 0233-22-6557 FAX:0233-22-9559 TEL : 0223-35-7910 FAX:0223-35-7911
URL <http://www.sintoh.co.jp>

■環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境推進責任者 白井 一広 事務局担当者 木村 正彦 (山形工場)

■事業の内容

本社 山形工場 : プラスチック製品の製造 (射出成形及び組付け)

■事業の規模	2024年度 活動規模	単位			山形工場	宮城営業所
		生産量	t	100		
		出荷額	百万円	397.8	—	—
		従業員	人	19	3	3
		床面積	m ²	2,301.28	235.37	—

■沿革 1931年 8月 東工舎創立

1989年 5月 山形県新庄市に敷地18,327㎡ (5,553坪) を取得 (現 : 山形工場)

1995年 12月 (株)東工舎 (現 : 東京工場) と (株)シントー (現 : 山形工場) が合併して
(株)シントーとなる

2000年 11月 株式会社リコー、環境マネジメントシステム登録工場取得

2006年 11月 エコアクション21環境マネジメントシステム認証取得 (山形工場)

2007年 9月 エコアクション21環境マネジメントシステム認証取得 (東京工場)

2008年 8月 ISO9001品質マネジメントシステム認証取得 (東京・山形工場)

2009年 9月 エコアクション21環境マネジメントシステム、東京工場、山形工場認証統合
登録番号 : 0000963

2011年 11月 ISO9001 : 2008認証更新 審査登録証 Q1295

2017年 12月 ISO9001 : 2015認証更新 審査登録証 QMJ : 0021

2018年 1月 本社を足立区に移転、生産拠点を山形工場に移設

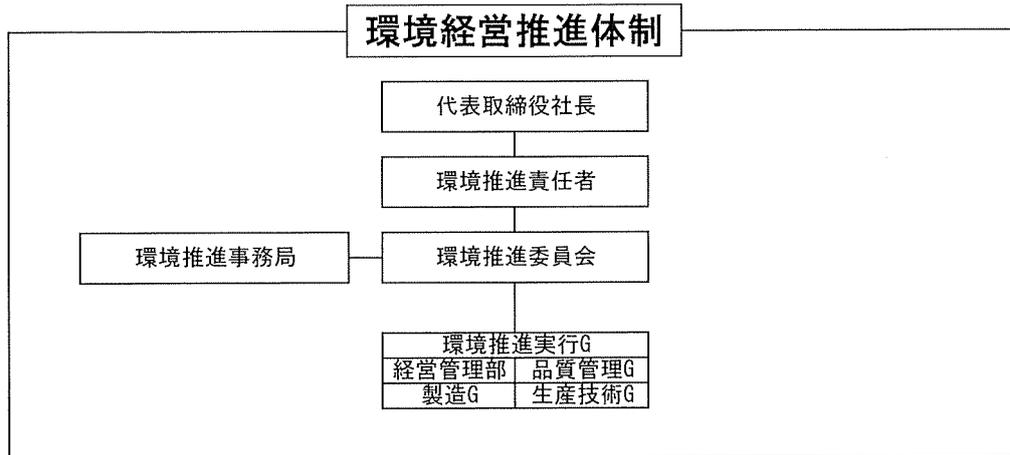
2019年 11月 宮城営業所 (宮城県岩沼市) を開設

2020年 10月 本社を千葉県松戸市に移転

2021年 2月 宮城営業所を宮城県亶理町に移転

2023年 4月 本社を山形県新庄市に移転

4. 実施体制



■役割・責任・権限

代表取締役社長	・ 環境管理責任者の任命
	・ 実施体制の構築
	・ 環境経営における課題とチャンスの整理
	・ 環境管理システムの実施及び管理に必要な資源の準備
	・ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
	・ 代表者による全体の評価と見直しを実施
	・ 環境経営レポートの承認
環境推進責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理
	・ 環境関連法規等の取りまとめ、遵守確認
	・ 代表者への環境経営システムの実施状況報告
	・ 環境目標・環境活動計画書を確認
	・ それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する
環境推進事務局	・ 環境経営システムの関連文書の作成
	・ 関連法規制等の情報の入手
	・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・ 環境活動の実績集計
	・ 環境経営レポート作成
環境推進委員会	・ 環境活動計画の審議
	・ 環境保全活動での環境推進実行Gの進捗状況の把握
	・ 環境保全活動における具体的実施項目の提案と推進及び改善の提言
全従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への配慮の重要性を自覚する
	・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

5. 環境関連法規制への違反・訴訟等の有無

(株) シンソーでの事業活動にかかわる、全ての関連法規を抽出、整理し、取りまとめています。

主な関連法規	対象物	主な関連法規	対象物
騒音規制法・振動規制法	射出成形機・コンプレッサー・粉碎機	電気事業法	自家用電気設備
廃棄物処理法	廃プラ・廃油・水銀使用製品	PCB廃棄物特別措置法	コンデンサー、トランス
消防法	消防用設備	フロン排出抑制法	第一種特定製品(業務用エアコン)
大気汚染防止法	小型ボイラー	省エネ法	電気・重油・灯油・ガソリン等
浄化槽の管理	浄化槽	火災予防条例	危険物(重油・機械作動油・灯油等)
家電リサイクル法	廃棄する家電4品		

※国・都・県・区・市関係の法規制等(改正)については、常に入手できるように1年毎に
関係機関(都、区、監署、工業部会)のホームページへアクセスして対応しています。

※遵守状況は6月に確認、遵守されています。

公害防止関連の規制、廃棄物リサイクルに関する規制、消防等の

規制違反について、関係機関から過去5年間に指摘は無く、訴訟等もありません。

6. その他の活動

① 工業団地内清掃活動

② 工場内除草作業(除草剤・草刈り機使用)

③ SDGsへの取り組み

- ・社員全員で終業時刻20分前から毎日清掃活動(5S活動)
- ・不使用電気機器の電源OFF休憩時の消灯実施
- ・裏紙利用・データメール送付の活用の継続



7. 環境経営目標

・環境経営目標(単年度・中長期)

環境経営目標項目	単年度目標	中長期目標(3年)	
	2024年度目標 (2024.4~2025.3)	2022年度基準年	2023年度~2025年度 (3年)
1 電力使用量の削減	2022年同期比2%削減	2025年度までに2022年度実績値の3%削減を目指す	
2 廃棄物排出量の削減	2022年同期比2%削減	2025年度までに2022年度実績値の3%削減を目指す	
3 水道使用量の削減	2022年同期比2%削減	2025年度までに2022年度実績値の3%削減を目指す	
4 CO2排出量の削減	2022年同期比2%削減	2025年度までに2022年度実績値の3%削減を目指す	
5 生産性向上活動(客先クレーム件数低減の達成)	2022年同期比2%削減	2025年度までに2022年度実績値の3%削減を目指す	
6 グリーン購入推進	現状把握	グリーンマーク商品を優先的に購入する	

「評価基準」受注量に変動があり、それに伴い機械稼働率も変動する為、売上高当たり(売上百万円あたりの使用量・排出量)で換算し結果を評価した。(下段表示)

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	百万円	348.50	397.80	432.23

8. 環境経営目標の実績・取組内容・次年度の目標

No	取組項目(年間)	単位 評価基準	2022年度	2023年度	2024年度	2024年度	増・削減率	評価	次年度	
			実績値	実績値	目標値 (2%減)	実績値			2025年度 目標値 (3%減)	
1	電力使用量	全社	kwh	620,071	607,670	601,469	-	-	-	
		山形	kwh	604,880	592,782	586,734	615,240	2%	×	586,734
			kwh/百万円	1,736	1,701	1,684	1,598	-8%	○	1,684
		本社	kwh	1,150	1,127	-	-	-	-	-
2	廃棄物排出量 (単純焼却 最終処分量)	全社	Kg	11,550	11,319	11,204	-	-	-	
		山形	Kg	11,550	11,319	11,204	10,475	-9%	○	11,204
			kg/百万円	33.14	32.48	32.00	20.83	-37%	○	32
		本社	Kg	-	-	-	-	-	-	-
3	上水道使用量	全社	m3	1,640	1,607	1,591	-	-	-	
		山形	m3	1,387	1,359	330	264	-81%	○	300
			m3/百万円	3.98	3.10	2.60	2.30	-42%	○	2.51
		本社	m3	3	-	-	-	-	-	-
4	CO2排出量	全社	Kg-co2	344,950	338,051	334,602	-	-	-	
		山形	Kg-co2	320,177	313,773	310,572	247,316	-23%	×	310,572
			kg-co2/百万円	919	901	891	862	-6%	○	891
		本社	Kg-co2	531	520	-	-	-	-	-
5	灯油使用量	山形	ℓ	1,088	933	1,055	1352	24%	×	1,055
		宮城	ℓ	-	-	-	-	-	-	-
6	ガソリン使用量	山形	ℓ	481	1,760	467	853	77%	×	467
		宮城	ℓ	-	-	-	-	-	-	-
7	品質改善活動(客先クレーム件数低減)の達成	山形	0件以下達成月	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	○	(3%増加) 100.0%
8	グリーン購入	山形 宮城	積極的にグリーン購入の推進を行う。対象品目が多岐にわたる為、実績値は出さず現状把握する。							

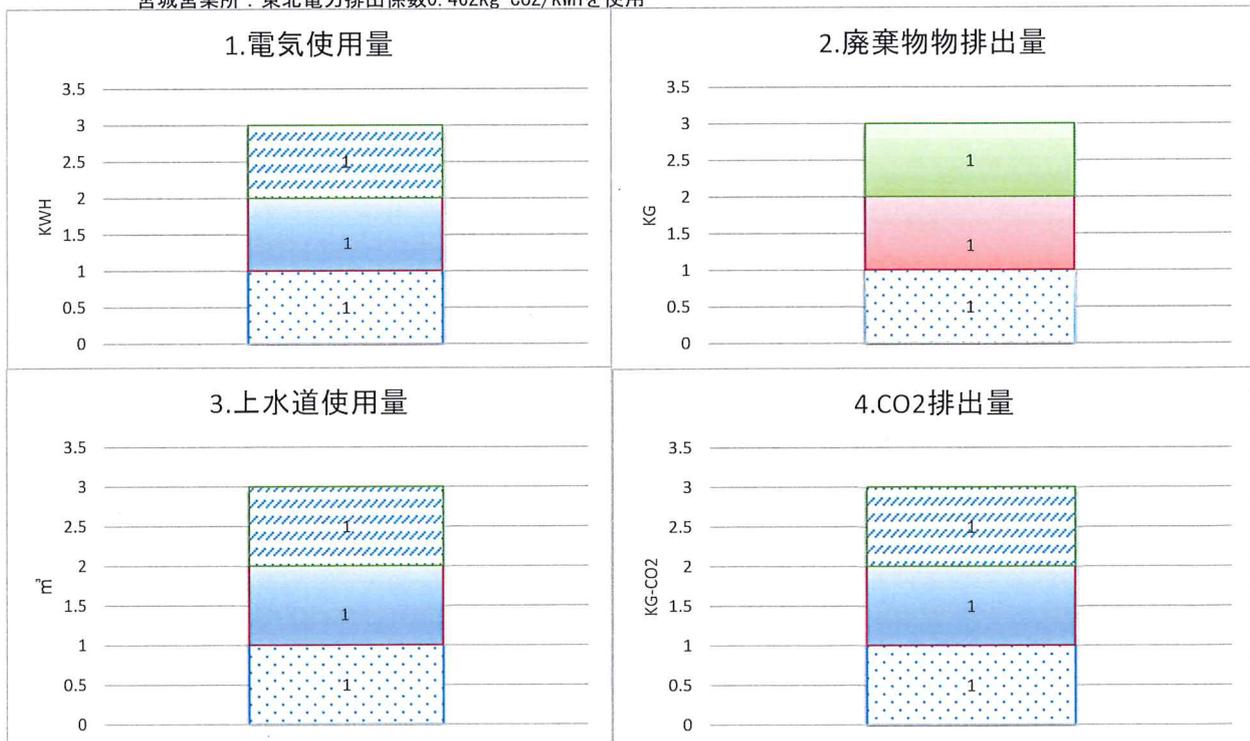
※二酸化炭素排出量は、電力、ガス、灯油、ガソリンの合計とし、H30(2018年)12.27公表の排出係数を使用。

※科学物質の使用がない為、目標管理しません。

本社/山形工場：東北電力排出係数0.523kg-co2/kwhを使用

下段(売上百万円あたり使用量)

宮城営業所：東北電力排出係数0.462kg-co2/kwhを使用



9. 環境経営計画に基づき実施した取組結果評価及び次年度への取組課題

○：十分に取組んだ

×：取組不十分

△：一部取り組めていない

No	環境経営計画	環境活動項目	取組結果と評価	評価	次年度への取組課題
1	電力使用量の削減	自社、省エネルギー・ルールの遵守	不使用電気機器の電源OFF休憩時の消灯実施。休憩時、一部消灯されていない箇所は発見次第即消灯。周知徹底を図った。	○	継続して省エネルギーを実施する。朝礼・ミーティング等を利用して節電の徹底を周知していく。ポスターによる節電の呼びかけを行う。
		成形機の効率的稼働	朝の機械への熱の入れ方をずらして、朝時点のデマンド最大値を減らしている。	○	成形機一人一台の管理者から一人複数台の管理を担当することにより効率的な稼働を目指す。
		デマンド管理システムによる監視・低減	事務所、工場でのデマンド管理システムの活用が不十分だった。	△	デマンド設定値を継続管理し、有効活用していく。
		設備の見直し	第一工場の残り13箇所の照明をLEDに変更完了。電気の消し忘れ防止と電力の見える化を図る為、スマートプラグを導入し、消し忘れていないかチェックをするようにした。	○	その他、各部屋の残りのフリップ蛍光灯のLED化を進める。
2	廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別・処理の徹底	重りで廃棄物を圧縮し、一度の回収でより多く廃棄出来る様、料金節約に努めた。継続して毎日一定の清掃時間を設け、社員一丸となり工場内の整理整頓、廃材の材質別に設置してあるリサイクル回収袋への分別を徹底した。	○	粉砕機を活用し、再利用を進める。廃棄物ジャンルの低減を図る。
		紙類の再使用化及び排出低減	必要に応じて裏紙利用・メールの活用を継続している。客先納品書等に使用する専用紙は印刷方法を工夫し無駄遣いしない様に取り組んでいる。受取り荷物中の梱包材等不要な紙類は出来るだけリサイクルするよう心掛けている。	○	裏紙利用・データメール送付を活用し低減に取り組む。ジャンルの継続使用を見極め分別を守りリサイクル率向上を目指す。
		不良品低減による廃材排出削減	シリンダー掃除を徹底して、炭化物の除去が出来、不良品の削減に繋がった。	○	不良品在庫の調査を行い、ワस्त順に改善計画を立て低減を図る。
3	水道使用量の削減	節水全般	より目に留まりやすい箇所への新ポスター掲示による節水の呼びかけ。パトロールでの見回りを実施した。音姫利用。	○	流しっぱなしの防止、節水ステッカー、掲示物等の継続で節水を喚起。掲示していない箇所へのポスターの掲示の徹底。
		設備の漏水点検	推進委員の毎日のメーカーチェックや社内パトロール時の早期発見、修理を実施。	○	定期点検、社内パトロールでの早期発見、修理。
		水道使用量の管理	大きな故障等無く削減できた。毎日のメーカーチェックにより使用量を計測し、前日との増加量と比べ異常への早めの対応に繋がった。	○	1回/日の水道メーカーチェックで前日との対比、異常の早期発見につなげる。冬期間は特に水道管の凍結・破裂に引き続き警戒する。
		設備の見直し			
4	CO2排出量の削減	電気、廃棄物、水道の削減計画を確実に実行。	省エネルギーに基づき活動を実施し、水道・産廃物は削減出来たが、電気は削減目標を達成出来なかった。	△	電力、廃棄物、水道使用量の取り組みを実施してCO2の削減につなげる。
		灯油・ガソリン使用量の削減	近場の客先への納品に弊社自社便と客先の自社便を利用した。輸送便の効率化、有効活用を推進し、CO2排出量の低減を図った。	△	テレビ会議の活用、拠点間の移動の際の乗り合いの継続をしていく。ストップ使用時は引き続きこまめなON/OFFの徹底を図る。
		エコドライブの推奨	ストップ使用時、こまめなON/OFFの徹底を図った。		エコドライブの推奨（掲示物等）
5	生産活動性の向上	ISO（QMS改善活動）客先クレーム（ロットアウト・ラインクレーム）件数削減活動実施	全員参加の5S活動により現場が見える化され、目に見える状態にする事が出来た。	○	ムリ、ムラ、ムスを無くし、業務効率化を図る。
6	グリーン購入の推進	事務用品、備品等エコ対象品を優先的に購入する。	備品・事務用品を中心に購入時に優先してグリーン商品を購入している。	○	事務消耗品、日用品に限らず、購入都度マーク等のグリーン商品を確認、検討、可能な限り転換する。

10. 代表者による全体の評価と見直しの結果

「上記活動は評価に値すると結果と判断します。
 一方で物価高騰、公租公課による経営環境の変化に伴い追従しなければならず更なる改善を行う努力が必要です。
 各々の認識のギャップを埋め平準化し更なるステップアップを図るため改めて5Sの徹底から対環境負荷に対する教育指導を行なうことでのスキルアップを期待します。

- ① 上水道料: 手洗い、トイレ出水量の調整
- ② 電気使用量: 無人箇所の節電(照明器具、扇風機、エアコン)
- ③ 廃棄物排出量: 未粉碎による産廃化
- ④ CO₂排出量: 定時出荷以外での対応(宅急便等)

上記が散見されたこともありましたが、慢心せず維持管理に努める事が必要不可欠です。

- ・環境経営方針（変更なし）
- ・環境経営目標及び環境経営計画（変更なし）
- ・実施体制（堅実に実行している）

1.1. 2025年度環境目標及び環境経営計画

2022年度基準年として-3%削減を目標とする。

2025年4月～2026年3月

No	環境経営計画	環境経営目標	単位	環境活動項目	責任部門 責任者	スケジュール 4月～3月
1	電力使用量の削減	電力使用量 山形 586,734	Kwh	自社、省エネルギーの遵守	製造G 木村	(左記達成手段全て) →
				成形機の効率的稼働		
				デマンド管理システムによる監視・低減		
				設備の見直し		
2	廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 山形 11,204	Kg	廃棄物の分別・処理の徹底	製造G 木村	(左記達成手段全て) →
				紙類の再使用化及び排出低減		
				不良品低減による廃材排出削減		
3	水道使用量の削減	水使用量 山形 300	m ³	節水全般	生産技術G 笹原	(左記達成手段全て) →
				設備の漏水点検		
				水道使用量の管理		
				設備の見直し		
4	CO2排出量の削減	CO2排出量 山形 310,572	Kg-CO2	電気、廃棄物、水道の削減計画を確実に実行。	製造G 木村	(左記達成手段全て) →
				カギリン使用量の削減		
				エコドライブの推奨		
5	生産性向上活動の推進	山形 100%	%	ISO(QMS改善活動)客先クレーム件数削減活動実施	品質管理G 木村	(左記達成手段全て) →
6	グリーン購入推進	山形	—	事務用品、備品等CO2対象品を優先的に購入する。	製造G 木村	(左記達成手段全て) →